



祝 消防団 50周年

～使命に燃えて～



第1分団OB
佐光 章平さん
昭和40年代には飛騨
バス転落事故、三和
の水害、50年代には
・28災害に出動し、市
民の安心安全に努めて
た消防団。

近年は県消防操法大会において連続上位入賞。団員の技術向上、士気を高め、新たな伝統を目指し頑張ってほしいですね。

市消防団沿革誌

明治27年
住民の生命財産を火災から守る消防活動は、当初隣保互助の申

住民の生命財産を火災から守る消防活動は、当初隣保互助の申し合わせによる自発的なものでしたが、「この年に上古井地区の有志により、大畠市太郎氏を組頭に消防手48人、腕用ポンプ1台を持つ「私設上古井消防組」が組織化されたのを最初に、私設消防組が各町村に設立され、やがて町村一円を対象とする公設消防組に発展

太田地区で私設消防組を設立
下米田地区で私設消防組を設立
伊深地区で私設消防組を設立
三和地区で私設消防組を設立
蜂屋地区で消防組を設立
山之上地区で消防組を設立
加茂野地区で消防組を設立
警防団令の公布により、国際情勢の緊迫と非常時局に即応するため、消防組は「警防団」に改編され、警察の補助機関として従来の火災の鎮圧のほかに、警察行政の一端を担つて治安を担当
消防団令の公布により、警防団は解消され、新たに民主的な組織として「消防団」が組織される

消防組織法の公布により、消防が警察から分離独立し、市町村単位で消防の責任を負う自治体消防として確立
市合併に伴い、8消防団が各町に置かれた



▲昭和7年当時の太田消防組
▲大畠市太郎氏

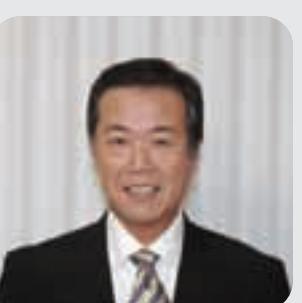


▲大烟市太郎氏



▲昭和7年当時の太田消防組

A portrait of a smiling man with short dark hair, wearing a dark suit jacket, a white shirt, and a patterned tie. He is looking directly at the camera against a plain, light-colored background.



初代	故野口甲三（太田）
2代	昭和31（32年） 故堀部松太郎（蜂屋）
3代	昭和33（37年） 山本 薫（加茂野）
4代	昭和38（42年） 故三品惣吉（太田）
5代	昭和43（46年） 木沢睦美（三和）
6代	昭和47（52年） 加納忠幸（太田）
7代	昭和53（58年） 岸 達雄（加茂野）
8代	昭和59（平成6年） 小川恒雄（下米田）
9代	平成7（15年） 尾石文雄（蜂屋）
	平成16年（）

昭和60年6月	可児市鳩吹山で山林火災発生。応援協定により出動
61年11月	消防団30周年記念式典
62年4月	災害シンポジウムを文化会館で開催・災害誌「忘れ得ぬ9・8月」を発刊
9月	
63年12月	第1回纏杯ゴルフコンペを開催
平成元年8月	県総合防災訓練をライン公園で実施
2年4月	岸団長が県消防協会長に就任
10月	全国婦人消防操法大会で伊深婦人消防隊が第6位に入賞
3年11月	第1回家族交流体育大会を開催
4年8月	日本消防協会表彰を受賞
8月	8・11集中豪雨。市内に大きな被害をもたらす
5年3月	消防庁長官から表彰旗を受賞
8月	県消防操法大会で市選抜チームが優勝



▲伊深婦人消防隊

平成6年4月	各分団3班を地域防災活動のみに出動する消防班として編成
8月	県消防操法大会に第5分団が出場し3位入賞
8年8月	二和町御殿山で山林火災。消防団員全員が出動し消火活動
9年1月	消防団40周年記念式典
11年8月	県消防操法大会に第7分団が出場し優勝
12年9月	9・11集中豪雨。草笛町・加茂川町を中心
16年3月	心に大きな被害が発生
16年8月	消防庁長官表彰を受賞
17年8月	県消防操法大会に第1分団が出場し3位入賞
18年8月	県消防操法大会に第1分団が出場し3位入賞
19年1月	県消防操法大会に第8分団が出場し準優勝
消防団50周年記念式典	
	
▲全国大会で活躍する第7分団	



▲全国大会で活躍する第7分団

昭和31年6月	市内各町消防団を統合し「美濃加茂市消防団」の10分団が誕生
34年9月	伊勢湾台風来襲。市内全域に大きな被害をもたらす
35年7月	伊勢湾台風の経験から加茂川で水防訓練を実施
36年6月	加茂地区連合演習を太田小学校で開催
9月	集中豪雨により深田・下町地区などで床上浸水などの被害
37年9月	第2室戸台風上陸。市内全域に大きな被害をもたらす
38年4月	加茂地区機動演習を実施
39年9月	従来の10分団制を8分団制に編成
40年10月	台風20号により床上浸水などの被害
41年11月	第20回国体が岐阜県で開催され、消防団を警備のため派遣
43年8月	近隣市町村と消防相互応援協定を結ぶ
44年9月	三和地区を中心に集中豪雨。飛騨川バス転落事故も重なり、連日行方不明者を捜索（8・17災害）
10月	内閣総理大臣表彰を受賞
45年4月	第1回消防団野球大会を開催
6月	可茂消防事務組合が発足
豪雨により深田・下町地区が被害を受ける	消防庁長官表彰を受賞
46年7月	県総合防災訓練をライイン公園で実施
47年3月	消防庁長官から竿頭綬 <small>かんじゅつじゅ</small> を受賞
4月	ラッパ隊が結成され、現在の音楽隊へと至る
7月	梅雨前線豪雨により山之上、蜂屋地区などで被害
51年9月	9・12災害で被害を受けた安八町へ災害復旧応援に出動
52年10月	三和町川浦地内で山林火災が発生し、50,000m ² を焼失
53年3月	日本消防協会会長から表彰旗を受賞
54年9月	各分団本部車に移動無線を設置
55年6月	第1回消防競練会を実施
58年9月	9・28災害。太田地区の市街地のほとんどが床上浸水となる
	
	▲訓練を行うラッパ隊
	
	▲消防三輪車の貸与式



▲訓練を行うラッパ隊



▲消防三輪車の貸与式